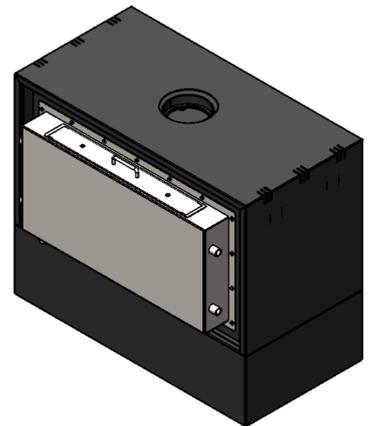
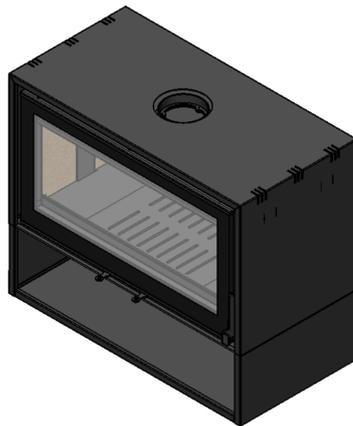
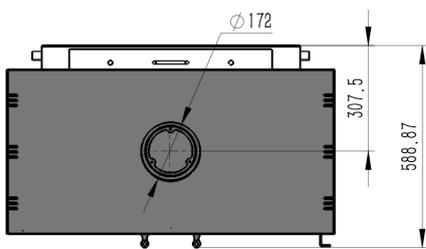
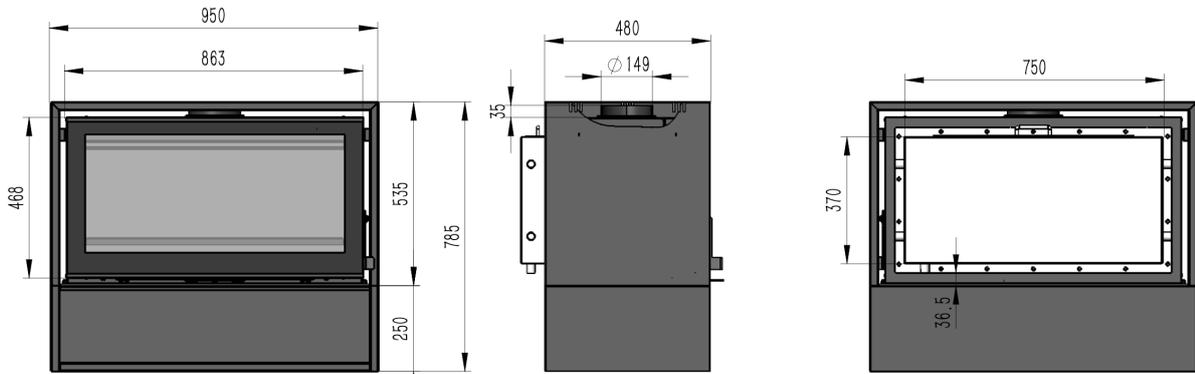
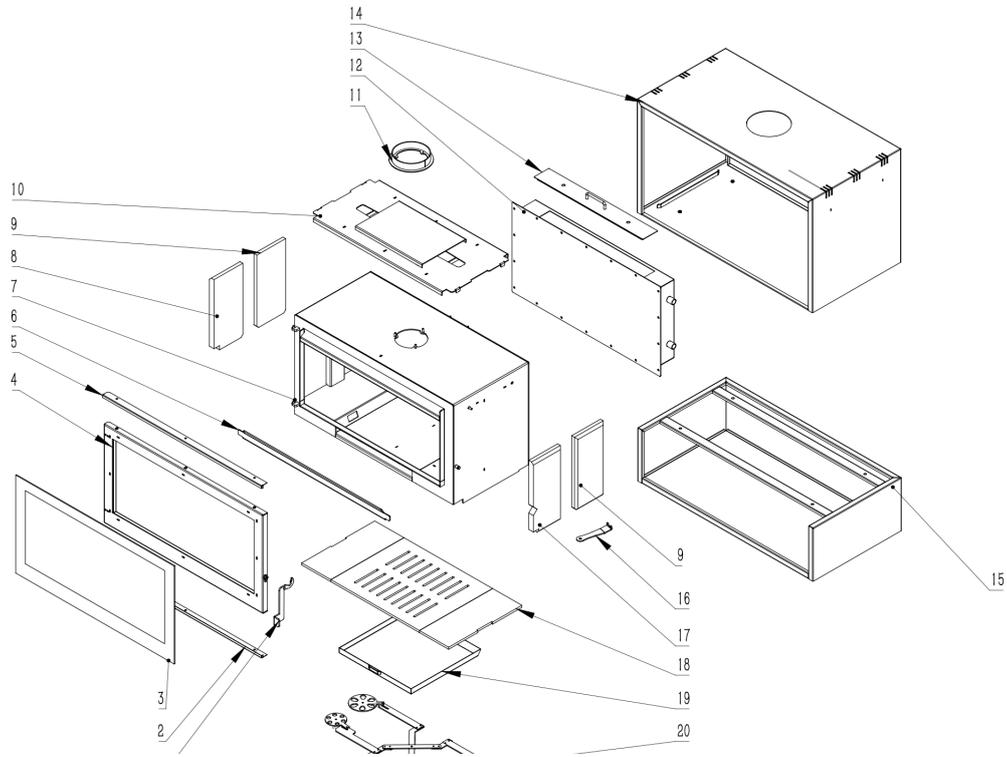


# パノラマ温水ストーブ説明書



## 【最重要注意事項】最初の火入れについて

最初の火入れの際は塗料が燃えます。そのためストーブ表面から煙が発生します。煙突の継ぎ目（根元）から煙が漏れているように見えますが、それはストーブ本体の表面の塗料が焼けたために発生した煙です。

最初の火入れの際は換気を十分に行って、燃焼させてください。温度を上げて、塗料を焼き切ってください。

また、この時、完全にドアを閉め切らずに燃焼させてください。前面ドア回りのガスケットロープと薪ストーブの接着面が固着することがあります。

----

・パノラマ温水ストーブの注意点（向いている人向いていない人）

パノラマストーブは炉内がバーミキュライトで断熱されていて、燃焼炉も大きく、さらに2次燃焼まで発生させるので、非常に性能の高い部類の機種です。火力は全ての薪ストーブの中で間違いなくトップクラスです。うまく使いこなせば素晴らしいパフォーマンスを発揮してくれます。

しかし、少し扱いが難しい部分もあったり、高气密住宅には向いていないなど、使う人を選ぶ部分もあります。せっかく選んでいただいたパノラマ薪ストーブでご不満が発生しないよう、注意点をいくつか列挙します。

### 注意点①煙漏れ

これは扉が大きな薪ストーブの宿命なのですが、薪を追加投入する際、ガラス扉を開けると室内側に多少煙が漏れます。対策として①煙が出ていない（熾火になった）タイミングで薪を投入する②煙突の引きをよくする（煙突ファンで強制排気も◎）③薪ストーブ近くにレンジフードを取り付け都度煙を逃すなどが挙げられます。

### 注意点②外気導入口がありません

よくお問い合わせをいただくのですが、パノラマストーブには直接外気導入口がありません。なので気密性の高い住宅の場合、関節外気導入口を開けていただく必要があります。

①と②の理由から、新築の高气密な住宅にはパノラマストーブは向いていない機種となります。また、煙漏れを最小限に抑えるためには煙突の引きが重要なので、できるだけ煙突はストレート屋根抜き（+二重煙突）を推奨しています。

また、その他の注意点として本薪ストーブは二重構造であるため天板温度が最大200度くらいで高温調理には向きません。ストーブ料理を重視している方にもご満足いただけない可能性があります。ミスマッチはお互いに不幸になりますので、事前にお客様のご要望に沿う機種かどうかを十分にお確かめください。

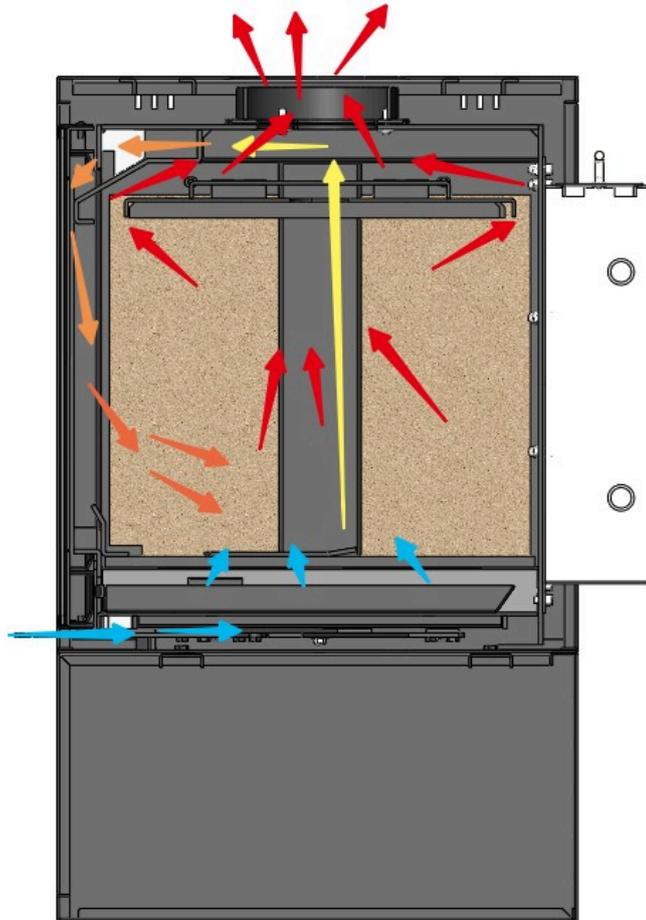
----

・パノラマストーブ基本スペック

重さ	180kg /190kg
サイズ	奥480幅950高535/785mm
内寸	奥400幅800
材質	鋼板(4mm)／軟鋼板
煙突径	150mm (ホンマ・ノザキ対応)
熱量	18kW
ガラス耐熱温度	750度
最大薪長	80cm
燃焼方式	二次燃焼

・ 2次燃焼について

下図のように1次エアは内部下面口ストルから流入します。2次エアはガラス上部から流入します。空気量の調整は、左レバーで1次エア、右レバーで2次エアの調整ができます。基本的には両レバー全開放で、火力の調整はダンパー（別売り）で行うようにしてください。

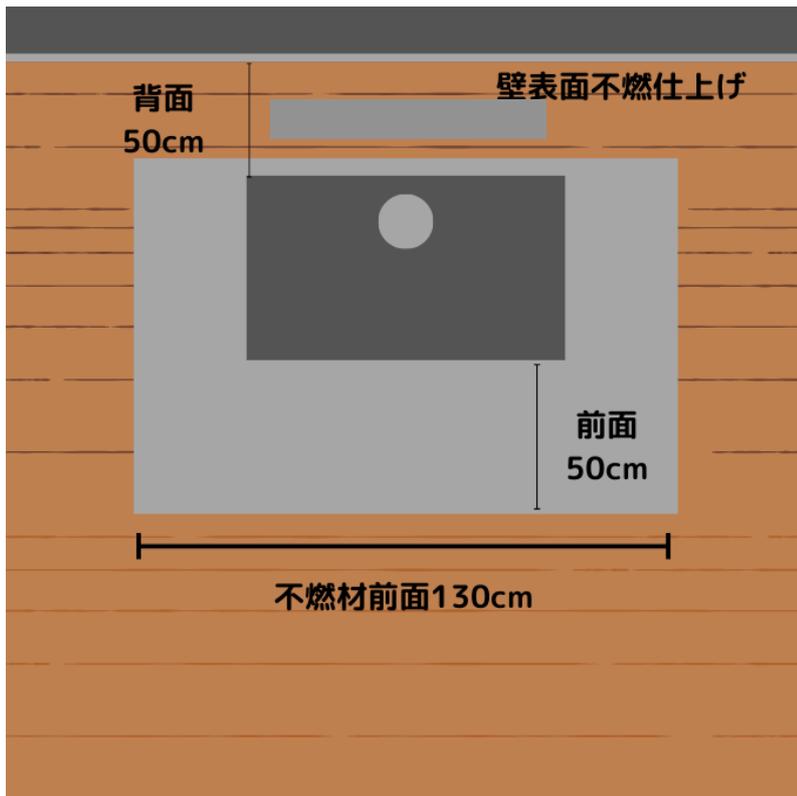


・ 安全離隔距離について

前方・上方150cm以上、側方後方100cm以上、可燃物から離してください。

上記が一般的な消防法における基準です。この基準をパノラマ温水ストーブの離隔距離として指定させていただきます。

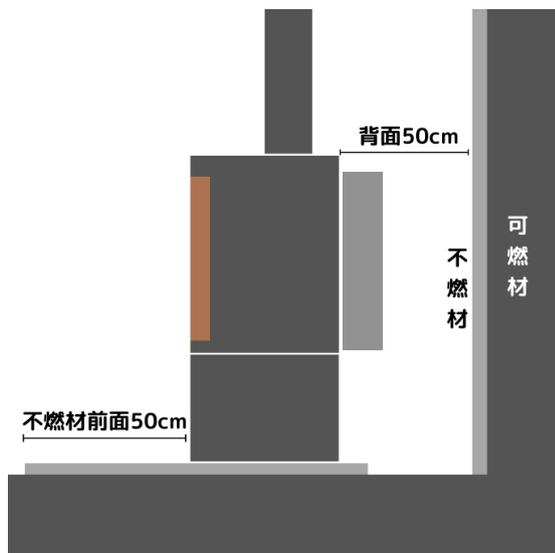
ただし実際はもう少し近づけても問題ない場合もあります。メーカーの推奨する離隔距離は次ページの通りです（近づける場合は自己責任でお願いいたします）



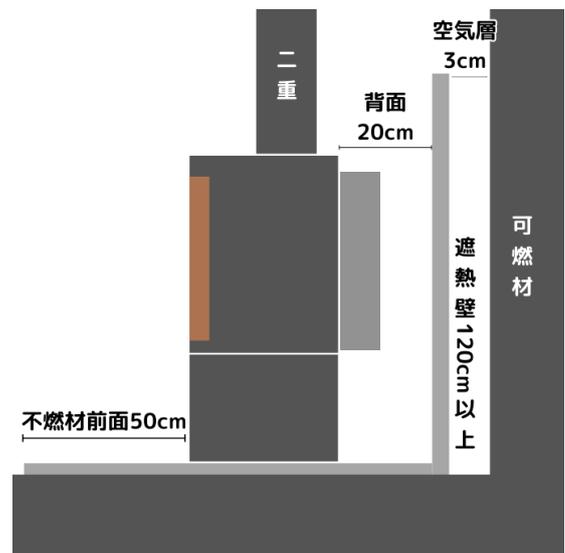
【離隔距離※メーカー推奨値】

遮熱壁を使用しない場合は壁との距離は50cm以上を確保してください。また、前面は150cm以上可燃物を設置しないようにしてください。

【床面について】※脚あり前提  
薪ストーブを設置する床面は不燃材を使用してください。  
ケイカル板のみで構成する場合は6mm以上のものをご使用ください。ストーブ前面床は50cm確保するようにしてください。横幅は130cm必要になります。  
脚なしでご注文の場合は何かしらの不燃素材で25センチ以上の高さを確保してください。



背面50cmを確保した上で壁表面は不燃材で仕上げてください。この配置の場合はシングル煙突でも可能です。



背面に遮熱板（高120cm以上）を設置する場合は、壁との間に3cm以上の空気層を設けてください。また、遮熱壁と薪ストーブの間には20cm以上の隙間を設けてください ※二重煙突必須

側面については放熱量が非常に少ないため、20cmほどまで可燃物を近づけても問題ありませんが正面ガラス窓からの放熱が前方側面にも広がるため、その分を考慮して設置してください。

### ・煙突の設置について

パノラマ温水ストーブは【注意点】でも述べましたが煙突の引きが特に重要な機種となっています。引きが弱いほど、薪投入時の煙漏れが発生しやすいからです。できるだけ二重煙突を使用し、できるだけ90度曲げを入れない屋根抜きストレート配管を心がけてください。

また、煙突配管の根元には「ダンパー」という部品を入れることを強くお勧めします（別売り）。これは排気を絞ることができる部材です。パノラマストーブは火力が強いので排気も強くなり過ぎてしまい、せっかくの熱量が煙突に逃げてしまうという事態が起きてしまいます。薪の熱をより効率的に使用するためにもダンパーを入れることをお勧めします。

二重煙突は熊本県の「ノザキ産業」をご使用されることをお勧めします。→  
(ダンパーも販売されています)



※薪ストーブの性能を活かすも殺すも煙突工事次第です。また、火事などのトラブルの有無も煙突の設計次第。プロに依頼することを強くお勧めします。弊社は商品のみ提供につき、煙道火災などの責任については一切負いません。



煙突工事についてはホンマ製作所のページが参考になります→

## ・燃やせる薪の種類について

パノラマストーブは鋼板製なので、針葉樹も燃やせます（当然、広葉樹も◎）。含水率20%以下のよく乾燥された薪を燃やしてください。濡れ薪や水分の多い薪を使用すると煙突内側に煤やタールが付着し、煙道火災の原因となります。絶対に乾燥薪をご使用ください。

竹も燃やせますが、爆ぜてガラス扉を割ってしまう恐れがあります。自己責任でご使用ください。

また、燃焼炉内の温度が上がりすぎると故障の原因となりますので適切な火力でご使用ください。

## ・メンテナンスや消耗品について

煙突掃除は必ず適切な頻度で行うようにしてください。火災のほとんどが煙道火災によるものです。

炉内のバーミキュライトは割れたり削れたりしやすい素材なので消耗品です。右のQRリンクから購入してください。前面ガラスも購入可能です。



↑バーミキュライト



↑ガラス

## ・床暖房配管について

温水薪ストーブから床暖房への配管の解説をブログにまとめています。  
右のリンクからご確認ください（随時更新）。



## ・保証について

初期不良のみ対応しています。

配送時にバーミキュライトの縁が欠けることがありますが、多少の欠けでしたら燃焼に影響はありませんのでそのままご使用ください。

## ・ご質問お問い合わせ

合同会社NITOCRAFT

〒925-0054 石川県羽咋市千里浜町ト 2 3 3-1  
08012970758  
ecobakacreation@gmail.com

ラインでお気軽にやり取りできたら嬉しいです。



↑公式ライン